

研究だより

No. 4
平成29年6月16日

第1回 授業研のようす(2年)

6月8日(木)は岡山大学の岡崎教授をお招きして、2年生の授業研究を行いました。今年度の算数科の研究の柱である「単元をつらぬくアイデア(本質)」を意識した授業展開になるように、寺川先生は本時まで試行錯誤を重ねながら全力で取り組んでおられました。

意識したのは、「単元の最初から最後まで、単元をつらぬくアイデア(本質)を使って授業をする」ことです。最初は子供達の実態を把握するところから始め、そこから子供達の実態に応じた適切な指導を行うことを心がけました。

授業の形態としては、今までの本校が取り組んできたスタイルとは違いますが、「子供の学力を高める」という意味では、とても意義深い時間になったと思います。

岡崎教授からも「こうした授業を年間通して行えば、子供の学力は間違いなく伸びる。」とアドバイスをいただきました。この授業をスタートに、全学年で年間通して、「単元をつらぬくアイデア(本質)を大切に授業」を意識して実践してほしいと思います。寺川先生は、授業後にも実践を続けています。素晴らしいことです。

寺川先生、貴重な授業提案をありがとうございました。

授業のようす



まずは、前時の復習です。掲示ではなく、「活動で」振り返ります。



繰り上がりや繰り下がりを意識させるために、教具の操作活動を取り入れます。



友達をまきこみながら、全員で問題解決を行います。



主体的・対話的で深い学び合いへの第1歩です!!

研究協議から

授業後の研究協議を通して、今回の成果と、今後取り組んでいくべき改善案が明らかになりました。全教職員で取り組んでいきましょう!!

○研究部

◎成果

- ・問題提示の仕方の工夫。
- ・ねりあい場面での、まきこみの指導。

●課題

- ・ノート指導
(式・図・言葉で説明させる。)

○評価部

◎成果

- ・個への支援(カード操作)。
- ・話型の指導。

●課題

- ・ICEループリックを「本質」に沿うものにする。
- ・思考させる時間を確保する。

単元をつらぬくアイデア(本質)を追求する授業の「よさ」①

最後に、単元をつらぬくアイデア(本質)を追求する授業の「よさ」について述べます。年度末に実感していただけただけなら嬉しいです。今日は、まず1点目……。

① 業務改善

- ・単元をつらぬくアイデア(本質)は、言うまでもなく、単元全体で使えるものです。
単元に入る前の教材研究で、そこをつかんでおけば、後は最後まで同じ指導の繰り返しです。子供の学力も上がります。本質をつかまずに、前日に指導書を読み込むよりも効果的だと思います。短い時間で、最大の効果を出しましょう!